

大東町

地形概況

南部の平野は菊川と牛湊川の自然堤防と閉塞による三角州性低地・砂堆列・人工斜砂丘・堤間湿地が平行する海岸低地からなり、大坂・千浜の砂丘は広い。西北部は小笠山丘陵で開析のすすんだ地形で佐束川・下小笠川ぞいに低地がひろがる。

地質概況

沿岸は広い砂堆と砂丘地の砂層が分布し、菊川の沖積地は泥層やシルト層からなる。小笠山丘陵の東南部は高位段丘礫層の小笠山礫層・海成砂泥層や河成砂礫層をもつ曽我層群、シルト岩や砂泥の規則的な互層をもつ掛川層群などが帯状に配列している。

気象概況

年平均気温が推定 15.7℃と県内でも気温が高い地域で、特に冬は暖かく真冬日がほとんどない。年平均降水量が推定 2,200mm と県平均よりやや少なく、5月から9月にかけて約半分に達する。冬は日照時間が長く、県下でも西風の強い地域である。

災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日（昭和 19 年）東南海地震 M=7.9
県中・西部で被害大きく、当地でも佐束上で全壊 3 戸、半壊 12 戸、佐束下で全壊 1 戸、半壊 1 戸、土方上で半壊 10 戸、土方中で半壊 6 戸、土方下で全壊 1 戸、半壊 15 戸睦三で全壊 1 戸、半壊 3 戸、中で全壊 57 戸、半壊 19 戸、東大坂で全壊 42 戸、半壊 34 戸、三井で全壊 5 戸、半壊 17 戸、大坂で全壊 7 戸、半壊 12 戸、浜野で全壊 1 戸、半壊 1 戸、三浜で全壊 6 戸、半壊 11 戸、国浜で全壊 43 戸、半壊 123 戸、千浜西で全壊 10 戸、半壊 71 戸、千浜東で全壊 1 戸、半壊 12 戸の被害があった。また千浜では浜に接した砂丘地帯に地割れ多く、砂地の畑に噴砂丘多数生じ青砂を噴いた。大坂・中村・睦浜でも泥水の噴出した所が多い。各地の震度は東大坂・中・喜右衛門新田で 7、千浜で 6～7、坂里・浜野・三井・岩滑・佐束で 5～6、千浜東・下土方・落合で 5 であった。
- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
全県下で被害を生じたが、当地でも大坂村・来福村・坂里村・成行村・国安村など、いずれも約半数の家が潰れた。土方村では 1 戸のみが潰れた。各地の震度は大坂・来福・坂里・成行・国安・土方村はともに 5～6 である。

災害事例 津波

- 1960 年 5 月 24 日（昭和 35 年）チリ地震津波
南米、チリ沖の地震による津波で、日本の太平洋岸で被害を生じた。千浜での津波の高さは 0.9m であった。
- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震津波
全県沿岸に被害を生じた。当地では三浜で高さ 6m の津波に襲われた。

災害事例 台風

- 1982 年 9 月 12 日（昭和 57 年）台風 18 号
全県下で風水害を受けた。最大時間雨量 57mm(12 日 3 時～4 時)に達した。負傷者 1 人、全壊 2 戸、半壊 1 戸、床上浸水 13 戸、床下浸水 145 戸。

災害事例 旱魃

- 1893 (明治 26 年)
6 月 6 日から 8 月 17 日まで大旱魃で、田畑の作物は大方枯死し、田はみな亀裂した。
- 1770 (明和 7 年)
旧暦 4 月、旱魃で畑作は全部枯死した。
- 1693 (元禄 6 年)
大旱魃。